

当科において腎凍結療法を受けられた方およびそのご家族の方へ
— 「T3a 腎癌に対する経皮的凍結療法の後方視的検討」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究機関長 金澤 右
大塚 愛二

研究責任者	岡山大学病院	放射線科	助教	宇賀 麻由
研究分担者	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	放射線医学	准教授	平木 隆夫
	岡山大学病院	放射線部	准教授	生口 俊浩
	岡山大学病院	小児放射線科	講師	松井 裕輔
	岡山大学病院	放射線科	助教	富田 晃司
	岡山大学病院 卒後臨床研修センター		助教	大川 七子

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

腎凍結療法は、腎がんに対して特殊な針を刺してがんを凍結することによって治療する方法で、近年本邦において普及してきています。腎凍結療法の安全性と有効性は多数の報告により示されていますが、多くは比較的小さな腎がんに対する治療報告であり、腎静脈の中や腎臓の外に広がる腎がん（T3a腎がん）に対する凍結療法の成績を検討した報告はほとんどありません。

この研究は、岡山大学病院放射線科において、T3a腎がんに対して凍結療法を受けた患者さんを対象とし、治療成績を検討することを目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究により、T3a腎癌に対する凍結療法の治療効果、安全性が明らかになり、T3a腎がんに対する治療方法を検討する際に役に立つ新たな医学的知見が得られます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2012年5月1日～2020年4月30日の間に岡山大学病院放射線科においてT3a腎がんに対して凍結療法を受けられた方、約15名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2021年12月31日

3) 研究方法

2012年5月1日～2020年4月30 日の間に当院においてT3a腎がんに対して凍結療法を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療内容や治療後経過についてのデータを選び、がんの制御率などに関する分析を行い、T3a腎がんに対する凍結療法の治療成績を調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、診断名、病歴
- ・ がんの大きさ、位置、組織型
- ・ 凍結治療の内容、合併症、併用する治療
- ・ 入院期間、がんの再発の有無、生存の有無、腎機能の変化

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年が経過した日までの間、岡山大学病院放射線科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。本研究で得られた情報を将来の研究に用いる予定は、現時点ではございません。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、補佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院放射線科

職名：助教 氏名：宇賀麻由

電話：086-235-7313（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-235-7316